

# 北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 11 号 (通巻 No.175)

2004 年 7 月 26 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、北海道に関連する海域の予報文および参考となる図をお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。

### 平成 16 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間：平成 16 年 8 月～12 月

対象海域：日本海

#### 1. 道北・道央海域（小型いか釣り）

(1) 来遊量：近年平均並みよりやや少ない

(2) 漁期・漁場：後半は昨年並み

(3) 魚体の大きさ：近年平均並み

道北・道央海域では 7～8 月が漁期のピークであり、年によっては 10～11 月にもう一つのピークが出来る場合がある。今年の当海域では早期より来遊が見られ、現在、ほぼ近年平均並みの漁況で推移している。しかし、調査結果による分布密度は高くないことから当海域の今後漁況は近年平均並みをやや下回ると予想される。一方、太平洋での来遊状況は昨年を上回る予想となっていることから、漁期後半は太平洋から来遊する群によって昨年並みに回復する見込み。

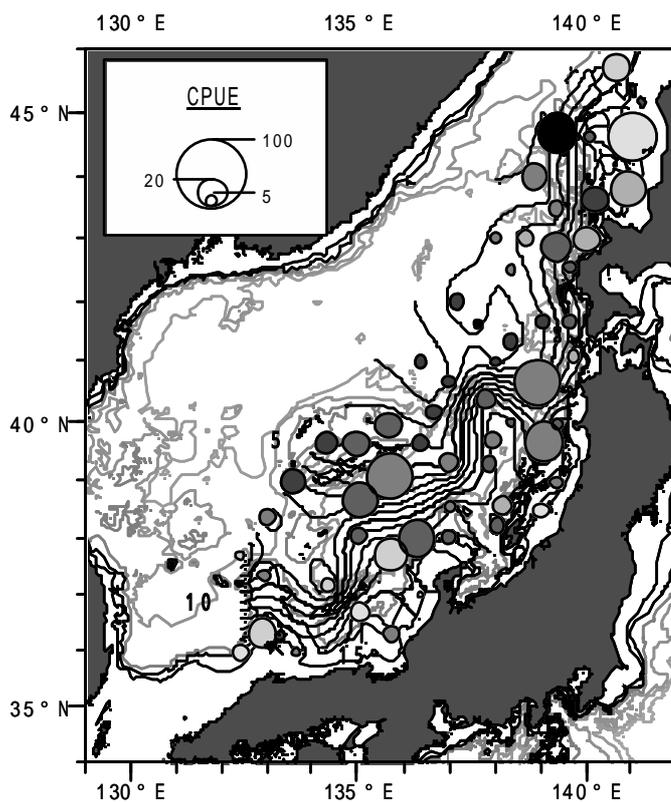
#### 2. 道南・津軽海域（小型いか釣り）

(1) 来遊量：近年平均より少ない

(2) 漁期・漁場：後半は昨年並み

(3) 魚体の大きさ：近年平均並み

道南・津軽海域では例年 7 月が漁期のピークであり、年によっては 10～11 月にもう一つの小さなピークが出来る場合がある。今年 6 月までの漁獲量は、近年 5 年平均を下回り、不漁であった昨年同様の値となっている。さらに調査結果でも分布量は少なく、7 月以降の漁況は近年平均よりも低調に推移することが予想される。一方、太平洋では昨年よりも来遊量が多いと予想されていることから、これらが来遊する漁期後半の 10～11 月は昨年並みの漁況に回復する見込み。



各調査点の平均外套背長; ~ 16cm, 17cm, 18cm, 19cm, 20cm, 21cm, 22cm~

図1 2004年6月下旬~7月上旬のスルメイカの分布密度

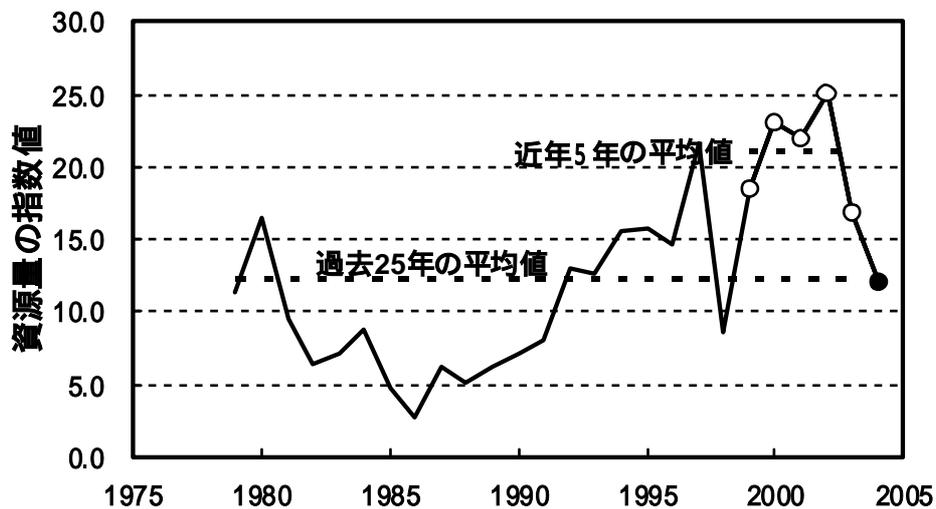


図2 日本海スルメイカ漁場一斉調査結果における日本海全体の平均 CPUE の経年変化

(図は独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所取りまとめ資料より)  
 (文責: 中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709)